

「子どもの未来を確かなものに」

H 2 9 . 3 . 6 (月)

ふたば保育園

松田 トシ子

2月24日(金)の保育参観には、多くの保護者の方々が多忙な日常の中を参加して下さいました。

参加をして下さいた方々の中から連絡帳にふたば保育園に対する熱い思いが溢れた感想を頂きました。

保護者の方々が園の行事にこんなにも多くのお気持ちを寄せて下さる保育園が、他にあるだろうかという感謝の気持ちと力強さと幸せを感じてより一層、子ども達の最善の幸せの為に職員みんなで力を合わせ進んでいく事を話し合いました。本当に有難うございます。

この感謝の気持ちは変わらないのですが、たった一つ気になることがあるのです。それは、子ども達の活動中の「スマホ」撮影です。ご自分の子どもさんの活動の姿を残しておきたいという気持ちは痛い程わかります。しかし、活動している子ども達はその雰囲気の中でどんな育ちを大切に育てているか、子ども達のそれぞれの存在が確保され認められて、ご自分の目で見て感じる事だと思います。自分の子どもがこの園の中で育ち、仲間と関わりあってお互いの存在感の大切さを知り、尊重しあう豊かな感性の育ちは「スマホ」には写りません。

しっかり、ご自分の目で確かめ心のカメラにおさめませんか？決して忘れる事のない育ちの確かめとなる事と思います。

又、子ども達は、周囲の大人達の「スマホ」の世界の小さなカメラのシャッターの音が日常となっている一時的にもしろ、その世界で育つ子ども達です。

「スマホ」全盛のこの時代の良悪に拘らず、この時代に育った特徴となる事でしょう。私はできるだけ、大きな視野で物事を考えられる人に育ってほしいと願っているのです。もし、できればどうしても残したい場面のみにして、目を子どもの世界に向けてほしいと切に思うのです。

*保育参観に対するお気持ちを連絡帳にお寄せいただきました。その気持ちが職員への励みと嬉しいものになりました。お許しを得て回覧にさせていただきます。